

平成29年度事業報告

法人本部・管理部

1 理事会・評議員会開催状況

社会福祉法人制度改革に伴い、関係法令および定款の規定に従って理事会および評議員会を開催した。平成29年6月1日開催の平成29年度第1回理事会では前年度(平成28年度)事業報告・決算報告、定時評議員会開催が承認された。6月22日開催の第1回定時評議員会では前年度(平成28年度)決算の承認、役員が選任された。同日開催の理事会で八島敏昭理事が理事長に選任された。11月開催の理事会は平成29年度上半期事業報告、補正予算が、平成30年3月開催の理事会は次年度(平成30年度)事業計画および予算を決議した。

[理事会]	第100回理事会(平成29年度第1回)	平成29年6月1日
	第101回理事会(平成29年度第2回)	平成29年6月22日
	第102回理事会(平成29年度第3回)	平成29年11月16日
	第103回理事会(平成29年度第4回)	平成30年3月22日
[評議員会]	第1回定時評議員会	平成29年6月22日

2 運営概況

(1) 法人経営

理事長、役員級職員による経営会議において新規事業、人事等の重要事項について方針決定を行った。事業執行は各事業部、各事業所の管理職によって構成する運営会議を定期的に開催し迅速かつ円滑な事業運営を行った。

(2) 人事労務等

定期昇給を実施し、非常勤職員の時給単価を改定した。一時金は前年度実績を支給し、さらに平成30年3月に処遇改善一時金を支給した。諸手当は現実的、合理的な制度と額に改訂した。人事面では「東やまたレジデンス」とグループホーム勤務の支援員の退職が相次いだ。このため中途採用を随時実施し、次年度の定期採用者も10名超雇用したが十分な職員確保には至らなかった。夜間勤務態勢を見直し、労働環境の改善策を講じ、新年度から実施することとした。

(3) 予決算および会計

予定外の大口寄付、人材確保および職員の教育研修費用、トイレ改修等の設備工事など当初予算の収支が大きく変動したため平成29年度11月に補正を行った。当初予算に対して黒字額を約2,200万円上方修正し、通期で6,500万円の黒字を見込んだ。下半期は事業計画に沿った運営であったため、人件費などに多少の増減はあったが、資金収支ベースでは約8,700万円の収入超となった。寄付者の意向に添うため大口寄付金4,000万円を本部会計に積み立てた。この結果、資金収支では約4,700万円の黒字となった。

3 事業概況

(1) 事業関係

平成30年4月開所予定の「ポルト能見台」の従たる事業所「ナビス氷取沢」は平成30年3月に竣工した。北部方面の小規模な生活介護事業所「リンク」とその従たる事業所「アイテック」は平成30年度内の事業所統合および開設に向けての基本設計が完了した。横浜市委託の発達障害者自立生活アシスタント事業は支援ニーズが少ないことから上半期をもって事業を終了した。その一方で、同じく横浜市委託の発達障害者地域支援マネジャーは下半期から2名増員し、4名体制でコンサルティング事業を実施した。

(2) 苦情解決事業関係

苦情解決事業の苦情はなかった。前年度(平成28年度)に発生した全事業所の苦情、事故事件、ヒヤリハット等の報告会を平成29年11月に開催した。

(3) 社会福祉法改正関係

社会福祉法人制度改革に対応するため内部留保額を算出したが、社会福祉充実残額を計上するまでの内部留保は積み上がっておらず地域公益事業等への取り組みは当面不要となった。

(4) その他

米国ノースカロライナ州やイギリスの自閉症支援の実際を学ぶため補助助成団体の海外研修に中堅職員(1名)を派遣した。幹部職員2名が米国ノースカロライナ州で実践されているTEACCHプログラムによる自閉症者の支援等について視察研修(全日本自閉症者支援協会)に参加した。自閉症者の施設入所支援におけるQOLを主題とした研修を実施し(当法人および大阪、北海道の3法人共催)、職員14名が参加した。

障害福祉事業部

施設支援1課

「東やまた工房」

1 事業概況

生活介護(定員38名)、短期入所(定員1名)、日中一時支援(定員1名)の障害福祉サービスを提供した。利用者を2グループに分け、企業からの受注作業、近隣のスポーツ会館の清掃ボランティア活動などを継続した。新規利用者1名を受け入れるとともに、2名が入所事業所(「東やまたレジデンス」)の利用を始めた。小グループによる平日の余暇活動、宿泊旅行を実施した。パーテーションを設置して作業環境の改善を行った。

2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員38名・現員40名)

①利用者概況(平成30年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	7	8	15
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	2	5	9	16
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	0	1	2	3
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	3	13	19	35
	女	0	0	0	0	0	2	3	5

(イ)年齢別状況

年齢		～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	0	6	4	21	4	35	40歳 9か月	
女性	0	0	1	4	0	5	43歳 7か月	
計	0	6	5	25	4	40	41歳 2か月	

(f)利用期間状況

期 間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～	15年～	計	平均期間
男性	1	1	2	7	11	13	35	14年 6か月
女性	0	1	0	2	0	2	5	13年 4か月
計	1	2	2	19	11	15	40	14年 4か月

(g)長期入院等状況

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(h)通所方法状況

自 力	人数
自 力	6
保護者迎	5
送迎バス	4
そ の 他	25
計	40

(i)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	20	20	22	20	18	20	21	20	20	18	19	21
平均日数	18	18	21	18	17	18	20	19	18	16	17	19

(k)入退所状況

入所者	入所日	居住区	備 考
32歳(男性)	H29. 4. 4	金沢区	「ポルト能見台」から移行

退所者なし

(k)入所利用

入所者	入所日	居住区	備 考
42歳(女性)	H29. 5. 8	鶴見区	「東やまたレジデンス」利用
40歳(男性)	H29. 9. 1	都筑区	「東やまたレジデンス」利用

(2)短期入所事業(定数: 1名)

①利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
20	16	20	19	18	13	10	19	17	15	13	16	196

②障害支援区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	1	3	9	13
女性	0	0	0	0	0	0	0

③年齢別状況(実数)

年齢	～19	20～29	30～39	40～	合計
男性	0	7	2	4	13
女性	0	0	0	0	0

(3)日中一時支援事業(定数: 1名) のべ 0日・実数0人

3 支援および運営状況

(1)日中支援

企業(7社)からの受注作業を中心とした生産活動、清掃や洗濯などの家事活動を提供した。地域ケアプラザが発刊するの情報紙のポスティング、スポーツセンターでの清掃活動も行った。

(2)余暇支援

個別の余暇活動のサポートや宿泊旅行(6回)実施した。平日夕方のレクリエーションとしてボウリング、カラオケなど実施した。

(3)生活支援

家庭との連絡や訪問によって生活状況の把握し、生活全般への助言、通所支援、グループホームとの情報共有、通院同行、主治医への情報提供、医師の助言による健康管理などを行った。

(4)職員研修

他の福祉サービス事業所の見学、実習および養護学校からの実習生を受け入れた。

「まろんワークス(YOU)」

1 事業概況

係長、主任、支援員(正職員、非常勤)の体制で支援を行った。外部からの受注作業を継続した。余暇支援は希望制による小グループによる宿泊旅行を実施した。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員24名・現員25名)

①利用者概況(平成30年3月31日現在)

(7)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A 1	男	0	0	0	0	1	1	2	4
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A 2	男	0	0	0	0	3	6	5	14
	女	0	0	0	0	1	1	0	2
療育手帳 B 1	男	0	0	0	0	1	0	1	2
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
療育手帳 B 2	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	6	7	8	21
	女	0	0	0	0	2	1	1	4

(8)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	6	2	11	2	21	39.8歳
女性	0	0	1	3	0	4	44.4歳
計	0	6	3	14	2	25	40.5歳

(9)利用期間状況

『まろんワークス』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	1	3	2	5	11	12年 1か月
女	0	0	0	0	0	2	2	15年11か月
計	0	0	1	3	2	7	13	12年 8か月

『YOU』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	0	2	3	5	10	13年 7か月
女	0	0	0	0	0	2	2	16年 5か月
計	0	0	0	2	3	7	12	14年 0か月

(10)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(11)利用方法状況

自 力	14
保護者送迎	6
送迎バス	1
その他	4
計	25

(か)利用日数状況

『まるんワークス』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	20	20	22	20	18	20		
平均通所日数	17.6	18.5	20.4	18.0	16.4	18.4		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	21	20	20	18	19	21	239	19.0
平均通所日数	18.9	18.4	18.4	16.4	17.1	19.0	217.5	18.1

『YOU』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	20	20	22	20	18	20		
平均通所日数	17.6	16.7	18.7	16.2	14.1	16.5		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	21	20	20	18	19	21	239	19.9
平均通所日数	16.4	17.4	17.4	15.5	16.3	16.7	199.5	16.6

(キ)入退所状況 なし

(2)日中一時支援事業(定数：2名) 利用実績：のべ72日 実数3人

3 支援および運営状況

(1)日中活動および作業内容

文房具組立・包装、自動車部品の組立、広告誌のポスティング等の受注作業を行った。受注総合センターの仲介による新たな作業(切手台紙貼り等)を請け負った。クリーンタウン横浜事業センターの清掃業務(市受託)を継続した。

(2)生活状況

外食等の地域資源を活用する機会を設けた。居宅介護サービスや移動支援サービスの利用状況を把握し、調整を行った。他法人のグループホームと連携して利用者の支援を行った。健康診断など健康管理を行った。

(3)その他

保護者やグループホーム職員に対して日中活動の様子を定期的に説明し、面談等で個別支援計画を確認した。「まるんワークス」「YOU」「アイテック」と共同で宿泊レクリエーションを実施した。特別支援学校生徒の保護者見学を随時受け入れた。

「リンク(アイテック)」

1 事業概況

平成30年度末に予定している「リンク」とその従たる事業所「アイテック」の統合に向けて基本設計など準備作業を行った。「アイテック」は利用者の欠員募集(1名)を行ったが充足できなかった。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員20名・現員19名)

①利用者概況(平成30年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0

療育手帳 A2	男	0	0	0	0	3	3	0	6
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B1	男	0	0	0	1	3	2	1	7
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	1	1	1	1	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (身体2級)	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	男	0	0	0	3	8	6	2	19
	女	0	0	0	0	0	0	0	0

(イ)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	1	6	7	5	19	45.1歳
女性	0	0	0	0	0	0	—
計	0	1	6	7	5	19	45.1歳

(ウ)利用期間状況

『リンク』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	1	9	0	0	10	5年8か月
女	0	0	0	0	0	0	0	—
計	0	0	1	9	0	0	10	5年8か月

『アイテック』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	9	0	0	0	9	5年0か月
女	0	0	0	0	0	0	0	—
計	0	0	9	0	0	0	9	5年0か月

(エ)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ)利用方法状況

自 力	16
保護者送迎	0
送迎バス	0
そ の 他	3
計	19

(カ)利用日数状況

『リンク』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	20	20	22	20	18	20		
平均通所日数	18.8	19.5	21.7	19.2	17.7	19.2		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	21	20	20	18	19	21	239	19.9
平均通所日数	20.4	19.5	19.4	17.2	17.5	19.5	229.6	19.1

『アイテック』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要通所日数	20	20	22	20	18	20
平均通所日数	17.5	17.5	19.5	17.2	15.8	18.2

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	21	20	20	18	19	21	239	19.9
平均通所日数	18.5	18.3	18.1	15.2	17.2	19.8	212.8	17.7

(キ)入退所状況 なし

(2)日中一時支援事業(定数：2名) 利用実績：0

3 支援および運営状況

(1)日中活動および作業内容

文房具類組立・包装、プラスチック製品やバイク製品のシール貼り・包装、紙器製作、建築資材の組立、自動車部品組立など良好な受注状況のもと作業活動を提供した。

「リンク」は清掃業務を請け負った。

(2)生活状況

移動支援サービス利用者にはガイドヘルパーと情報交換を行った。健康診断を行った。余暇支援は希望制による小グループによる宿泊旅行を実施した。

「ワークアシスト」

1 事業概況

管理者、サービス管理責任者、就労支援員、職業指導員、生活指導員、グループ就労訓練担当者を配置した。職業基礎訓練としてパソコン操作訓練や名刺作成の編集印刷等の模擬作業、社会生活技能の訓練としてグループセッションを実施した。協力事業所「パルシステム神奈川ゆめコープ横浜北センター」において10名の企業内訓練を実施した。しかし、協力事業所が本格的な障害者雇用を開始したため平成30年度末をもって企業内訓練を終了とした。見学を適宜受け入れ、体験実習の希望者に対して月1、2回(3日間)の体験実習を実施した。

2 事業実績

(1)就労移行支援事業(定員20名・現員14名)

①利用者状況(平成30年3月31日現在)

(ア)障害程度

障害程度	B1	B2	精1	精2	精3	計
男性	0	5	0	3	1	9
女性	0	1	0	2	2	5
合計	0	6	0	5	3	14

(イ)年齢

年齢	～19	20～	30～	40～	合計
男性	0	9	0	0	9
女性	1	4	0	0	5
合計	1	13	0	0	14

(ウ)新規利用者 9名(年齢は利用開始時点)

	入所者	居住区	入所日	障害の種類
1	20歳(男性)	旭	H29. 4. 3	適応障害
2	18歳(女性)	町田市	H29. 4. 3	アスペルガー症候群
3	18歳(男性)	南	H29. 4. 3	自閉症
4	21歳(女性)	戸塚	H28. 6. 5	高機能自閉症
5	19歳(男性)	都筑	H28. 7. 3	自閉症
6	24歳(女性)	泉	H28. 8. 1	発達障害・知的障害
7	21歳(男性)	青葉	H28. 9. 11	自閉症
8	22歳(男性)	緑	H28. 11. 27	広汎性発達障害
9	24歳(男性)	都筑	H30. 1. 9	アスペルガー症候群・ADHD

(エ) 退所状況 14名(退所時年齢)

	退所者	居住区	退所日	理 由
1	18歳(男性)	南	H29. 5. 31	暫定支給期間終了(他事業所へ移行)
2	22歳(男性)	鎌倉市	H29. 7. 31	自己都合
3	19歳(男性)	青葉	H29. 8. 4	企業就労
4	27歳(男性)	青葉	H29. 8. 31	企業就労
5	20歳(男性)	神奈川	H29. 8. 31	企業就労
6	20歳(男性)	都筑	H29. 9. 30	企業就労
7	23歳(女性)	港北	H29. 10. 24	企業就労
8	32歳(男性)	都筑	H29. 10. 31	企業就労(社会福祉法人)
9	19歳(男性)	青葉	H29. 11. 30	企業就労
10	19歳(男性)	保土ヶ谷	H30. 2. 26	企業就労(生協)
11	28歳(男性)	泉	H30. 3. 23	企業就労(生協)
12	22歳(女性)	戸塚	H30. 3. 23	企業就労(公立大学法人)
13	22歳(男性)	泉	H30. 3. 31	利用期間終了(就労継続Bへ移行)
14	22歳(男性)	南足柄市	H30. 3. 31	企業就労(生協)

3 企業内訓練実績(訓練生状況)

	性別	障 害 の 種 類	訓練期間	現 況
1	男性	発達障害・療育B2	H28. 6. 13～H29. 8. 4	企業就労
2	男性	自閉症・精神2	H28. 7. 8～H29. 11. 20	企業就労
3	男性	自閉症・療育B1	H28. 8. 4～H30. 2. 15	企業就労
4	男性	高機能自閉症・療育B2	H29. 1. 23～H30. 3. 31	企業就労
5	男性	発達障害・精神3	H29. 4. 21～H30. 3. 22	企業就労
6	男性	自閉症・療育B2	H29. 7. 11～H30. 2. 2	就労継続Bへ移行
7	女性	統合失調症・精神3	H29. 7. 12～H30. 3. 27	訓練継続中
8	男性	適応障害・精神2	H29. 8. 2～H30. 3. 30	訓練継続中
9	男性	発達障害・療育B2	H29. 10. 30～H30. 3. 30	訓練継続中
10	女性	アスペルガー症候群・精神3	H30. 1. 16～H30. 3. 27	訓練継続中

4 見学・体験実習参加者

	対 象	内 容	人 数
1	既卒者(見学)	施設見学	25名
2	学生(見学)	施設見学	14名
3	家族・関係者(見学)	施設見学	85名
4	既卒者(体験実習)	訓練体験参加	12名(各3日間)
5	学生(体験実習)	訓練体験参加	3名(各3日間)

施設支援 2 課

「東やまたレジデンス」

1 事業概況

生活介護(定員50名)、施設入所支援(定員40名)、短期入所(定員4名)、日中一時支援(定員2名)の障害福祉サービスを提供した。3係体制を基本として係長のもとに日中支援と生活支援に主任を配置した。発達障害支援者スーパーバーザー養成研修の協力事業所として他機関からの実習に対応した。安全管理委員会を開催して事故予防、衛生管理、健康

管理等の改善を行った。

2 事業実績

(1) 生活介護事業(定員50名・現員53名)

①利用者概況(平成30年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳A1	男	0	0	0	0	0	2	36	38
	女	0	0	0	0	0	0	5	5
療育手帳A2	男	0	0	0	0	1	1	4	6
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳B1	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	男	0	0	0	0	1	3	41	45
	女	0	0	0	0	0	1	7	8

(イ)年齢別状況

年齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	0	2	3	37	3	45	43.0歳
女性	0	1	1	4	2	8	43.4歳
計	0	3	4	41	5	53	43.1歳

(ロ)利用期間状況

期間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～	15年～	計	平均期間
男性	0	1	2	4	5	33	45	18年4か月
女性	0	1	0	4	0	3	8	12年11か月
計	0	2	2	8	5	36	53	17年6か月

(ハ)長期入院等状況

状況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(ニ)通所方法状況

自力	0
保護者迎	7
送迎バス	5
その他	41
計	53

(ホ)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	22	22	22	22	20	22	23	22	22	20	20	23
平均日数	21	20	22	21	19	21	22	21	21	19	19	22

(ヘ)入退所状況 入所者：なし

退所者	退所日	居住区	備考
44歳(男性)	H29.5.7	港南区	死亡のため
47歳(男性)	H29.9.29	泉区	他事業所(他法人)利用のため

②支援状況

自動車部品の受注作業、空缶リサイクル作業、近隣のスポーツ会館での清掃活動を継続した。作業エリアの環境を定期的に見直し、利用者が混乱しない分かりやすいレイアウトにした。テラスの人工芝を拡張して運動プログラムを増やした。宿泊旅行を4回実施した。

(2) 施設入所支援(定員40名・現員40名)

①利用者概況(平成30年3月31日現在)

(ア) 障害支援区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳A1	男	0	0	0	0	0	2	22	24
	女	0	0	0	0	0	0	6	6
療育手帳A2	男	0	0	0	0	1	0	2	3
	女	0	0	0	0	0	2	2	4
療育手帳B1	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	男	0	0	0	0	1	2	25	28
	女	0	0	0	0	0	3	9	12

(イ) 年齢別状況

年齢	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男性	0	1	1	24	2	28	43.2歳
女性	0	1	2	7	2	12	43.1歳
計	0	2	3	31	4	40	43.2歳

(ロ) 利用期間状況

期間	～1年	1～3	3～5	5～10	10～	15年～	計	平均期間
男性	1	3	0	1	0	23	28	17年10か月
女性	2	2	1	1	0	6	12	12年5か月
計	3	5	1	2	0	29	40	16年7か月

(ハ) 長期入院等状況

状況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅	0

(ニ) 入退所状況

入所者	入所日	居住区	備考
28歳(女性)	H29.5.1	港北区	「東やまたレジデンス」生活介護
42歳(女性)	H29.5.8	鶴見区	「東やまた工房」
40歳(男性)	H29.9.11	都筑区	「東やまた工房」
退所者	退所日	居住区	備考
44歳(男性)	H29.5.7	港南区	死亡のため

②短期入所事業(定数:4名)

(ア) 利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
122	100	136	121	105	108	102	109	104	95	91	93	1,286

(イ) 障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	1	1	15	27	44
女	0	0	0	0	2	1	3

(ロ) 年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	合計
男	3	20	12	9	44
女	0	1	1	1	3

③日中一時支援事業(定数: 2名) 延41.8日・実数48人

④支援および運営状況

新規利用者(3名)を受け入れた。近隣の医療機関と連携して訪問診療を継続し、インフルエンザの予防接種は健康診断時に実施した。休日や平日に外食を含む外出の機会を増やし、また個別の活動を積極的に提供した。

施設支援 3 課

「ポルト能見台」

1 事業概況

生活介護(定員50名)、短期入所(定員1名)、日中一時支援(定員2名)の障害福祉サービスを提供した。生活介護の利用者は合計59名であった。施設長(管理者・サービス管理責任者兼務)、係長(2名)、主任(1名)、支援員、看護師(非常勤)、栄養士、事務(非常勤2名)配置し、支援は2エリア(1エリア2グループ)に分け、各グループに支援員(正職と非常勤)を配置して支援にあたった。従たる事業所「ナビス氷取沢」の開設準備のため専従職員を配置した。

2 事業実績

(1)生活介護事業(定員50名・現員59名)

①利用者概況(平成30年3月31日現在)

(ア)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A 1	男	0	0	0	0	1	4	14	19
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A 2	男	0	0	0	0	5	10	15	30
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 B 1	男	0	0	0	0	2	1	1	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B 2	男	0	0	0	0	1	2	0	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	男	0	0	0	0	9	17	30	56
	女	0	0	0	0	0	1	2	3

(イ)年齢状況

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	1	12	20	21	2	56	34歳6か月
女性	0	1	1	1	0	3	36歳3か月
計	1	13	21	22	2	59	34歳7か月

(ウ)利用期間状況

年	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均利用期間
男	1	3	1	8	43	0	56	11年2か月
女	0	0	0	1	2	0	3	12年5か月
計	1	3	1	9	45	0	59	11年8か月

(エ) 長期入院等状況

状 況	人数
1 か月以上 3 か月未満の継続入院者	1
3 か月以上の継続入院者	0
1 か月以上 3 か月未満の継続帰宅者	0
3 か月以上の継続帰宅者	0

(オ) 利用方法状況

自力	16
保護者送迎	18
送迎バス	5
その他	20
計	59

(カ) 利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
要通所日数	20	20	22	20	18	21		
平均通所日数	18.4	18.8	21.2	19.0	16.9	19.5		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要通所日数	23	20	20	18	19	21	242	20.2
平均通所日数	20.1	18.8	18.6	16.6	17.7	19.7	225.3	18.8

(キ) 入退所

入所者	入所日	居住区	備 考
18歳(男性)	H29.4.1	金沢	養護学校(県立)高等部新卒

退所者なし

(2) 短期入所事業 (定数：1名)

① 利用状況 (宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
19	22	25	26	16	27	19	25	18	17	22	22	258日

② 障害支援区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	3	6	16	25
女性	0	0	0	0	0	1	1

③ 年齢状況(実数)

年齢	～19	20～29	30～39	40～	計
男性	2	12	8	3	25
女性	0	1	0	0	1

(3) 日中一時支援事業 (定数：2名) 利用者数8人 利用実績7.5日

3 支援および運営状況

(1) 支援方針および内容

個別支援計画を策定し支援内容の確認と見直しを行った。地域資源、医療機関との協力・連携に務めた。

(2) 日中支援

利用者の個性や特性に応じた作業環境や日課を提供し、受注作業を中心に自立的に活動ができるよう支援した。受注作業は組立、梱包作業に加えて年度末に企業から新しい作業(バッチの制作)を受けた。金沢区土木事務所の公園清掃業務は継続した。

(3) 余暇支援

カラオケ(年3回)、プール(年6回)、宿泊旅行(年5回)を提供した。

(4) 短期入所・日中一時支援サービス

サービス提供日以外の希望に対しては入所事業所の利用を勧奨した。短期入所の利用実績は前年度比で45日増え、継続的な定期利用の他に連泊が増えた。

(5) 地域生活支援

「ハウスヒルサイド」「ハウスJOY」「ハウスノア」「ハウスオーク」の車輛送迎を行った。通所途上の付き添いや定期的な状況把握を行った。家庭生活や通所に困難がある利用者に入所事業所の短期サービス、移動支援サービスの利用調整を行った。

(6) 研修教育、学生実習等

現任訓練、嘱託医による専門研修、新任者研修、外部派遣研修を行った。現場実習

として特別支援学校高等部生徒(2名)、大学生(1名)を受け入れた。特別支援学校教員・保護者、他の事業所職員、当事者団体、地域関係者の見学を受入れた。

(7)その他

金沢区自立支援協議会に参加するとともに、地域の支援困難ケースへの相談支援を行った。

共同生活援助事業(南部方面グループホーム)

1 事業概況

管理者、サービス管理責任者(係長兼務)、複数のグループホームを兼任する支援員、各グループホームの専任支援員(正職員、非常勤)を配置し、4グループホームが連携できる体制を構築した。日中活動は全員が「ポルト能見台」を利用した。

2 事業実績

(1)利用者概況(平成20年3月31日現在)

〈ハウスヒルサイド〉定員5名

①障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	2	2	5
女	0	0	0	0	0	0	0

②年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	0	0	4	1	5
女	0	0	0	0	0

〈ハウスJOY〉定員5名

①障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	0	3	2	5
女	0	0	0	0	0	0	0

②年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	0	1	4	0	5
女	0	0	0	0	0

〈ハウスノア〉定員5名

①障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	1	3	5
女	0	0	0	0	0	0	0

②年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	1	1	3	0	5
女	0	0	0	0	0

〈ハウスオーク〉定員5名

①障害支援区分状況

	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	2	2	1	5
女	0	0	0	0	0	0	0

②年齢状況

	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	合計
男	1	0	4	0	5
女	0	0	0	0	0

3 支援および運営状況

レストランでの夕食、日用品の買物、公共交通機関の利用など地域生活の幅を広げた。「ポルト能見台」と宿泊レクを実施した。保護者の高齢化に伴い週半ばの祭日や週末利用が増え、4か所のグループホーム間における連携強化に努めた。

地域支援課

「共同生活援助事業(北部方面グループホーム)」

1 事業概況

職員の退職に伴い係長、主任2名体制を基本とした担当ホームの変更、勤務時間の見直

し、業務の合理化を行った。人手不足のため非常勤職員を募集したが充足できなかった。ホーム全体での余暇活動を計画してグループごとに実施した。防災備品、感染予防薬品等を充実させた。利用者の預り金紛失事故が発生したため金庫やキャビネット等ハード面の強化とマニュアルの見直しなど金銭管理体制を整備した。

2 事業実績

(1)利用者概況(平成30年3月31日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年 齢			
		1	2	3	4	5	6	男	女	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
ハウスBEE	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	0	4	1
ハウスSEA	4	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	3	1
ハウスDOUX	5	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	3	2
ハウスEEL	5	0	0	0	3	1	1	4	1	0	0	3	2
ハウスF	5	0	1	0	4	0	0	5	0	0	1	3	1
ハウスG	6	0	0	0	1	0	5	6	0	0	0	3	3
ハウスi	5	0	0	0	0	4	1	5	0	0	1	4	0
ハウスK	5	1	3	1	0	0	0	5	0	2	1	1	1
ハウスLm	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	0	5	0
ハウスMuu	5	0	0	0	0	3	2	5	0	1	2	2	0
ハウスP	5	0	0	0	0	2	3	5	0	1	1	3	0
合 計	55	1	4	1	9	18	22	54	1	4	6	34	11

3 支援および運営状況

(1)ハウスBEE

週末利用の増加により職員配置を調整した。利用者や家族の加齢により通院や送迎の調整を行った。

(2)ハウスSEA

週末利用の増加により職員配置を調整した。通所先、家族、後見人、関係機関と連携して支援を行った。

(3)ハウスDOUX

職員の異動に伴い引き継ぎや業務内容の見直しを行った。

(4)ハウスEEL

嘱託職員の退職に伴い職員配置と勤務調整を行った。安定した生活が維持できるよう通所先と連携して支援を行った。

(5)ハウスF

新しいホームへの移転直後の4月にスプリンクラーの漏水事故が発生したが修繕を行った。5月から新規利用者1名を受け入れた。

(6)ハウスG

週末利用増加のため職員配置を調整した。落ち着いて生活できるよう予定の見通しや生活リズムを維持する支援を行った。

(7)ハウスi

家庭環境の変化に伴い後見人を含めた家族や関係機関と連携した。週末利用の増加により職員配置と送迎について調整した。預り金の紛失事故があり金銭管理体制および備品の整備を行った。

(8)ハウスK

通院同行して健康維持に努めた。関係機関と連携して支援の方向性を確認した。

(9)ハウスL m

職員の異動により引継ぎや支援体制、業務内容を再整備した。居宅ヘルパーの導入準備を行った。

(10)ハウスM u u

家庭、通所先と連携して落ち着いて生活できる支援を行った。

(11)ハウスP

平成29年3月末に開所し「東やまたレジデンス」から2名、4月からは3名が入居し、安心して生活できるよう家族や通所先と連携して支援を行った。

「ヘルパーセンターやまびこ」

1 事業概況

介護給付事業として居宅介護、行動援護、重度訪問介護を実施し、地域生活支援事業として移動支援を実施した。居宅介護事業は法人内グループホームへの派遣を中心に実施した。重度訪問介護の利用者は3名(法人1名、他法人2名)であった。ヘルパー確保に向けて行動援護研修、移動支援(ガイドヘルパー)研修を実施した。ヘルパーのスキルアップおよび専門性向上のためヘルパー勉強会(月1回)を実施した。

2 事業実績

(1)派遣件数、事業収入等

	移動支援	行動援護	居宅介護	重度訪問介護
登録ヘルパー	55名	36名	12名	8名
稼働件数	1,292件	1,825件		
稼働時間	4,345.0時間	5,118.0時間	4,614.5時間	830.5時間
給付費収入	10,243,750	35,093,817	30,543,489円	1,874,127円
(小計)	45,366,567円(キャンセル含む)			
合計	77,784,183円			

(2)研修事業

①行動援護従業者養成研修

第1回：平成29年5月22～27日 受講生30名

第2回：平成29年7月11～19日 受講生27名

第3回：平成30年2月27～3月20日 受講生29名

②ガイドヘルパー養成研修

第1回：平成29年10月10日～31日 受講生9名

3 サービス状況

短時間ガイドサービス(送迎ガイド等)の増加により稼働時間は移動支援、行動援護ともに減少した。ヘルパーの高齢化や家庭事情(家族介護)を理由に稼働日数や時間に制限が生じているケースが増加した。ヘルパー確保に努めたが他の仕事とかけ持ちで登録することが多く稼働状況の減少を補えるまでには至らなかった。送迎ガイドのニーズはさらに増加すると予想され、短時間ガイドの掛けもちなど柔軟な提供体制を整備する必要がある。居宅介護事業の稼働は安定しているが、週末利用が増えており慢性的なヘルパー不足が生じている。

「計画相談事業」

1 事業概要

相談支援専門員を3名配置して事業を実施したが、業務の継続性や手続きに沿った支

援に制約があり、利用希望は多いが新規利用件数の伸びは微増であった。平成31年度から全面的に計画相談へ移行するため利用ニーズに対応する相談体制の整備が課題である。

2 事業実績

新規：64件(更新：5件含む) モニタリング：73件

3 支援状況

サービス利用支援(計画作成)、継続サービス利用支援(モニタリング)に加えて、基本相談として日常的な相談に対応し必要な情報提供や助言を行う必要があるため研修や自立支援協議会などへ定期的に参加し、制度や各事業所などの最新情報を把握し多職種と情報交換や連携を図る機会を増やした。相談支援専門員(1名)は相談支援従事者現任者研修の受講を修了した。

相 談 課

「横浜市発達障害者支援センター」

1 事業概況

センター長を含めて相談員8名(社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士)と発達障害者地域支援マネージャー2名(下半期から4名)を配置し、相談支援、就労相談、機関コンサルテーション、機関連携を主事業として実施した。

2 事業実績

(1) 相談支援

- ①相談件数 実支援人数566名(前年度604名) のべ件数4,853件(前年度4,271件)
 新規195名(前年度219名) 男性122名・女性：73名 市内193名・市外2名
 継続371名(前年度385名)

②支援内容(実数は重複あり)

	支援内容	実人数(重複有)	のべ件数
相談支援	相 談	374人	2,269件
	調整会議	—	61件
就労支援	相 談	219人	2,002件
	調整会議	—	12件

③年齢内訳(実数)

16～18歳	11人
19～39歳	463人
40歳以上	92人
不 明	0人
合 計	566人

④特定相談 18区(月1回から；区によって開催頻度は異なる)

一次相談機関における発達障害者の特定相談を行った。各区2名の相談員が担当し、月1回を原則としながら、おもに区役所高齢・障害支援課を窓口とした初回相談、医療ソーシャルワーカーと基幹相談支援センターや生活支援センター相談員らとの発達障害者相談における配慮点、地域資源等の情報交換および話し合いを行った。開催頻度や内容は区によって特徴があり、1区のみ一次相談支援機関の定例会議の場に参加してそこにおける情報共有やケース検討という関わりで終始した。

⑤関係施設・機関等の連携(参加状況)

連絡協議会：0回
 障害者総合福祉法第89条協議会：3回
 他の協議会：129回

(2) 発達障害者地域支援業務

- ①申請受付事業所：33か所 訪問件数：265件(のべ件数)

②事業所別受付数

事業所種別	申請受付
グループホーム(知的)	7
生活介護	10
地域活動支援センター	7
機能強化型地域活動ホーム	1
就労支援継続B型	3
児童入所施設	1
成人入所施設	0
居宅介護事業所	3
放課後等デイサービス事業所	1
合 計	33

③月別訪問件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
17	13	15	17	15	16	29	36	15	21	37	34	265件

④支援内容

知的障害を伴う自閉症者が利用する障害福祉サービス事業所の職員からの依頼に応じて訪問し、活動内容や支援手法、及び環境面に対するアドバイスをを行った。また、事業所職員向けの「自閉症研修」を随時行った。

(3) 広報啓発・機関連携

①研修事業

- ・神奈川県委託の強度行動障害支援者養成研修(基礎2回)
- ・横浜市委託の強度行動障害支援力向上研修(基礎2回、実践1回)
- ・センター主催(3回)102名 発達障害者相談基礎研修(6/4)36名
発達障害者相談応用研修(1/18・1/25)16名 医療セミナー(11/19)50名
- ・講師派遣(53回)2,871名 ・地域住民向け講演会(0回) ・企業等に対する啓発(13回)20名

②広報事業 法人機関紙『マンスリーやまた』編集発行(6月・9月・12月・3月)。

(4) 発達障害者自立生活アシスタント事業(平成29年4月～9月)

登録者：6名(男性4名、女性2名) 未登録相談ケース：12名(男性10名、女性2名)

登録者生活状況：単身6名、障害者のみ家庭0名、家族同居(単身準備)0名

[支援内容] *重複あり

	登 録	未登録
心理・情緒	209	86
医療・健康	90	21
消費生活	38	24
就労	78	21
衣食住	179	30
対人関係の調整	201	80
制度	61	39
関係機関との連携	84	27
調整会議(カンファレンス)	15	9

[支援方法] *重複あり

	登 録	未登録
面接(来所)	13	29
電話・メール・FAX	360	89
訪問	7	2
外出付き添い	10	5
合 計	390	125

横浜市学齢後期発達相談室「くらす」

1 事業概況

室長を含めて職員5名(社会福祉士、臨床心理士)を配置。4月末から職員1名が産休、育休取得したが産休代替職員の確保難しく、3月に新規職員を採用するまで4名体制で発

達障害のある(疑いを含む)中高生の相談支援を行った。発達障害者支援センター事業および横浜市二次相談機関として教育分野を含む関係機関との連携に努めた。

2 事業実績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 相談支援

新規122件(男74、女48) 継続122件(男89、女33) 終結62件(年齢超過のため)

①年齢構成(実人数)

小学生	中1	中2	中3	高1	高2	高3	19歳以上	合計
7	34	42	37	52	43	27	2	244

②相談方法(のべ件数)

相談方法	件数
来所	1,364
訪問	36
電話(インテーク相談以降)	649
その他(FAX、メール等)	18
合計	2,070

③相談対象者(のべ件数)

対象者	件数
本人	572
家族	1,107
教職員	187
関係機関職員	256
合計	2,122

④相談内容(おもな相談内容を3項目までカウント)

相談内容	件数
家庭での対応	922
学校・通所先での対応	809
不適応行動への対応	210
対人関係	274
感情コントロール	382
医療機関利用	144
不登校・ひきこもり	187
進路	730
退院後の生活	18
制度資源利用	146
放課後・余暇の過ごし方	24
その他	34
合計	3,828

(2) グループ活動等

①中高生対象グループ活動：11回(のべ49名)

②保護者勉強会：2回(各30名)

3 機関連携

①ケース会議：22回

②自立支援協議会・連絡会議等への参加：37件(うち教育関係23件)

③外部講師依頼：15件(うち教育関係3件)

④事業説明訪問・見学対応：6件

「横浜日吉就労支援センター」

1 事業概況

センター長、就労相談員5名の6名体制とした。相談のみの来所者(1次相談)は目標数(40人)の約2倍、新規の求職者・定着支援者は目標(25人)どおりに対応できた。継続の求

職者・定着支援者は目標(205人)を下回った。昨年度内に連絡が途絶えた利用者(40人)を登録から外したためである。新規就職者は目標(15人)未達であった。

2 事業実績

(1) 相談支援件数

① 当事者支援：内容別

	就職に向けた支援	職場定着に向けた相談・支援	日常生活・社会生活に関する相談・支援	就業と生活の両方にわたる相談・支援	合計
登録	743	1,042	207	653	2,645
未登録	749	302	105	137	1,293

② 当事者支援：手段別

	来所相談	電話・Fax・Eメール	企業訪問	訪問支援(就労移行等)	合計
登録	253	1,886	374	132	2,645
未登録	203	1,000	31	59	1,293

③ 企業・その他支援：内容別

	就職に向けた支援	職場定着に向けた相談・支援	日常生活・社会生活に関する相談・支援	就業と生活の両方にわたる相談・支援	合計
企業	72	5	0	0	77
関係者	164	6	3	1	174

④ 企業・その他支援：手段別

	来所相談	電話・Fax・Eメール	直接訪問等	合計
企業	4	46	27	77
関係者	33	128	13	174

(2) 新規就職者数(1か月以上の雇用契約を締結したもの8名)

① 診断別

	身体障害	知的障害	精神障害	手帳なし	合計
企業	0	1	12	0	13
A型	0	0	0	0	0

② 手帳等級別内訳

	A1	A2	B1	B2	精神1	精神2	精神3	合計
等級	0	0	1	0	0	9	3	13

③ 精神障害者の状態別

	疫病	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
状態	1	11	0	0	12

(3) 離職者数 8名

① 診断別内訳

身体障害	知的障害	精神障害	手帳なし	合計
0	1	7	0	8

② 手帳等級別内訳

	A1	A2	B1	B2	精神1	精神2	精神3	合計
等級	0	0	1	0	0	3	4	8

③ 精神障害者の状態別

	疫病	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
状態	0	7	0	0	7

3 支援および運営状況

就労相談は就職までの流れや就職後に必要な支援を見極め支援の方向性や支援計画を提案した。就労に直結しない相談は必要なサービスに確実につながるよう連携支援を積極的に行った。職業興味関心検査、一般職業適性検査、ワークサンプルなど職業評価を行い、職場実習をとおして職業イメージや労働に対するモチベーション、作業能力、社会的スキルの状況を把握し、適正なジョブマッチングを心がけた。職場開拓は労働局等からの雇用率未達成企業への支援依頼に応じ多くの事業所情報の収集に努めた。職場アセスメントや実習候補者の選定に時間がかかり、開拓した事業所に新規就職者がつながった事例は少なかった(4か所のうち2社)。定着支援は職場のアセスメントを実施し、課題の把握や解決方法について本人、事業所、センター職員の三者で共有して安定化をはかった。離職を余儀なくされたケースは医療機関や福祉機関と連携し、離職後も在宅にならないよう切れ目のない支援を心がけた。転職活動は本人の希望や状況に適合する企業情報を提供したり、他の職業紹介所と連携した。自立支援協議会、就労支援センター連絡会議、特別支援学校就労支援連絡会議等に参加し、教育、相談支援機関、就労系サービス事業所とのネットワーク構築に努めた。横浜市内の就労、福祉、教育、医療機関を対象とした「よこはま発達就労支援セミナー」を開催した。

高齢福祉事業部

「東山田地域ケアプラザ」

通所介護事業の1日平均利用者数は18.4名にとどまり目標(22名)未達であった。地域包括支援センターは社会福祉士に代わり保健師1名を配置して4名体制で運営をした。生活支援体制整備事業は介護保険事業所と連携して介護予防ボランティア活動を開始し、地域住民とのつながりづくりに努めた。

1 通所介護事業・横浜市通所介護相当サービス

①利用登録者：44名(平成30年3月31日現在) 男性11名 女性33名

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	1	10	8	13	5	5	2
比率(%)	2.3	22.7	18.2	29.5	11.4	11.4	4.5

②利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	
稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	24	23	24	26	306	
通所介護	延べ数	443	483	454	448	398	386	325	327	306	281	306	343	4,500
	平均	17.7	17.9	17.5	17.2	14.7	14.8	12.5	12.6	12.8	12.2	12.8	13.2	14.7
予防通所 相当サービス	延べ数	112	121	104	98	94	94	99	102	81	80	80	83	1,148
	平均	4.5	4.5	4.0	3.8	3.5	3.6	3.8	3.9	3.4	3.5	3.3	3.2	3.7
1日平均	22.2	22.4	21.5	21.0	18.2	18.5	16.3	16.5	16.1	15.7	16.1	16.4	18.4	

③利用終了者：26名

理由	死亡	入院・入所	その他
人数(人)	0	17	9

2 居宅介護支援事業

①契約者数：133名(平成30年3月31日現在)

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	7	28	30	36	15	12	5
比率(%)	5.3	21.1	22.6	27.0	11.3	9.0	3.7

②要介護認定調査実施件数：102件 *要支援1、2のプランは受託件数

3 介護予防支援事業(平成30年3月31日現在)

契約者数：95件(うち居宅委託分85件) 内訳：要支援1・28名 要支援2・67名

4 地域包括支援センター

①相談・訪問実績 相談件数：1,095件 訪問実績：244件

②相談内容内訳

内容	相談	訪問
介護保険	588	149
介護予防	4	9
行政サービス	105	24
インフォーマルサービス	48	17
認知症	76	13
介護・医療(認知症以外)	86	25
施設入所・入院	99	12
日常生活課題	214	102
苦情	8	2
成年後見制度・消費者保護	9	2
虐待	34	3
ケアマネ相談支援	38	3

③援助内容内訳

内容	相談	訪問
安否確認・状況把握	836	234
介護・保健等指導助言	50	39
介護保険・行政サービス申請受付	79	72
他機関との調整	394	94
情報提供(サービス・施設紹介等)	620	178
傾聴	50	1

④介護予防ケアマネジメント業務(平成30年3月31日現在)

契約者数：113件(うち居宅委託107件) 内訳：要支援1・68名 要支援2・63名

⑤自主事業(介護予防事業)

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
ボイストレーニング	8回(234名)	目的：介護予防、地域活動の立上げ、顔の見える関係づくり、ネットワーク構築 内容：声楽家によるボイストレーニング
臨床美術① シーグラス講座	1回(20名)	目的：認知症予防、顔の見える関係づくり 内容：シーグラスの作成
臨床美術① 切り絵講座	3回(49名)	目的：認知症予防、顔の見える関係づくり 内容：切り絵作家による切り絵講座

⑥自主事業(包括的・継続的ケアマネジメント事業)

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
ケアマネサロン	12回(54名)	目的：情報交換、ネットワークの構築 内容：勉強会含むサロンの開催
エリア連絡会	1回(33名)	目的：①情報交換②ネットワークの構築 内容：通常業務に必要な情報提供、意見交換会

⑦自主事業(権利擁護事業)

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的および内容
介護者のつどい 「ほっと茶屋」	12回(60名)	目的:介護者の仲間づくり、ストレス解消 内容:茶話会、介護に関するミニ講座
税理士による巡回相談 (成年後見制度)	1回(6名)	目的:普及啓発、機関連携、権利擁護 内容:講座「成年後見制度と相続」、個別相談

⑧介護予防普及事業

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的および内容
3A講座	1コース(56名)	目的:介護予防普及強化 内容:認知症予防のためのゲーム、体操など
南山田DEランチ	1コース(26名)	目的:介護予防普及強化 内容:献立の作成、調理、体操など

⑨地域ケア会議 包括エリアケース1回(21名参加)

5 地域活動交流事業

①子育て・障害等相談件数 子育て関係0件 障害関係0件 その他17件

②高齢者支援・認知症予防事業

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
ゆうゆう東山田	23回(488名)	目的:認知症予防、引きこもり防止 内容:ミニデイサービスの実施
ふきのとう	22回(715名)	目的:認知症予防、引きこもり防止 内容:会食会の実施
ケアプラ談話室	22回(141名)	目的:認知症予防、引きこもり防止 内容:茶話会の実施

③子育て支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
ぞうさんくらぶ	11回(412名)	目的:未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容:サロンの実施。
あそびのおもちゃランド	11回(525名)	目的:未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容:ミニイベント、サロンの実施。
親子体操 ころころぱんだ	13回(678名)	目的:親子の戏っぴ、仲間作り 内容:インストラクターによる体操教室
小児救急法	1回(36名)	目的:救急法の基礎知識、利用機関情報 内容:消防署員による講座
育メン講座	1回(66名)	目的:父親の育児参加の機会づくり、仲間づくり 内容:育児講座
こころ育て講座	1回(64名)	目的:離乳終了期の不安解消、仲間づくり 内容:食事および発達の講座

④障害児者支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
アフリカンダンスくらぶ	9回(98名)	目的:発達障害の子どもと養育者の交流。 内容:インストラクターによるアフリカン教室
1番素敵なアートを 見つけよう	3回(57名)	目的:発達障害の子どもと養育者の交流。 内容:美術教師によるアート講座

⑤普及啓発活動・ボランティア活動支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
子どもも大人もボランティア体験	5回(12名)	目的：ボランティア活動の普及啓発 内容：ミニ講座、ボラ団体の活動参加、デイベース参加
ケアプラギャラリー	常設(毎月更新)	目的：地域活動の紹介とつながり作り 内容：地域で活動する個人やサカノの作品展示。

⑥地域連携事業

事業名	実施回数・参加者	内 容
東山田連合町内会 納涼盆踊	8月5.6日	目的：ケアプラザの周知、地域連携。 内容：駄菓子、お面販売 連携先：東山田連合町内会
スマイルコレクション	1回(500名)	目的：施設間連携。地域子育ての土壌づくり 内容：Tシャツを作り駅前でファッションショー 連携先：地区センター、コミュニティハウス
親子でおもちゃづくり	1回(28名)	目的：世代間交流、地域資源との連携 内容：区内の樹木を利用したおもちゃづくり 連携先：創造活動グループ
スクラップブック を作ろう	2回(28名)	目的：障害福祉事業所の周知、地域資源の紹介 内容：事業者紹介、講師によるスクラップブック作り 連携先：地域活動ホーム、生活支援センター

⑦広報活動

- ・ 広報紙「けあぷら通信」 1 回約2,250部発行〈4回〉 情報提供
- 「事業案内」 1 回約2,250部発行〈12回〉 事業案内
- ・ ホームページ 広報誌の他に事業の案内(毎月更新)

6 生活支援体制整備事業

事業名	施回数・参加者	内 容
介護予防ボランティア	3回(28名)	目的：地域資源とのつながりづくり 内容：地域に出向き介護予防講座実施
協議体	1回(29名)	目的：すみれが丘地域の認知症見守りネットワークの構築 内容：地域住民、地域資源との認知症の見守り活動の確認

7 運営協議会

- 第1回(平成29年7月10日) 平成29年度事業計画等
- 第2回(平成30年3月12日) 平成29年度事業報告、平成30年度事業展開

横浜市本牧和田地域ケアプラザ

通所介護事業は人員体制が安定せず1日平均利用者数は23名にとどまり目標(25名)未達となった。地域包括支援センターも社会福祉士が6月退職し、10月に補充したが2月に再び退職する事態となり人員体制が安定しなかった。介護予防事業は参加者による自主活動「元気づくりステーション」を継続支援した。生活支援体制整備事業はコミュニティカフェの活動を通して生活支援につながる人材のネットワークづくりを行った。地域情報の発信ツールとして包括支援センターと連携して地域活動サービスリストを関係機関に配布した。

1 通所介護事業・横浜市通所介護相当サービス

①利用登録者：79名(平成30年3月31日現在) 男性25名 女性54名

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	2	7	11	25	16	11	7
比率(%)	2.5	8.9	13.9	31.6	20.3	13.9	8.9

②利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	27	28	31	358
介護 延べ数	648	666	657	635	653	624	588	603	591	535	513	549	7,262
平均	21.6	21.5	21.9	20.5	21.1	20.8	19.0	20.1	21.1	19.8	18.3	17.7	20.3
予防 延べ数	85	93	90	98	92	82	88	83	73	62	62	71	979
平均	2.8	3.0	3.0	3.2	3.0	2.7	2.8	2.8	2.6	2.3	2.2	2.3	2.7
1日平均	24.4	24.5	24.9	23.6	24.0	23.5	21.8	22.9	23.7	22.1	20.5	20.0	23.0

③利用終了者：28名

理由	死亡	入院・入所	その他
人数(人)	6	12	10

2 居宅介護支援事業

①契約者数：106名(平成30年3月31日現在)

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	3	8	25	31	21	9	9
比率(%)	2.8	7.6	23.6	29.2	19.8	8.5	8.5

②要介護認定調査実施件数：116件

3 介護予防支援事業(平成30年3月31日現在)

①契約者数：46件(うち居宅委託分31件) 内訳：要支援1・5名 要支援2・41名

4 地域包括支援センター

①相談・訪問実績 相談件数：635件 訪問実績：261件

②相談内容内訳

内容	相談	訪問
介護保険	341	145
介護予防	39	11
行政サービス	15	0
インフォーマルサービス	23	3
認知症	44	18
介護・医療(認知症以外)	167	71
施設入所・入院	38	6
日常生活課題	69	34
苦情	2	1
成年後見制度・消費者保護	13	3
虐待	5	3
ケアマネ相談支援	188	54

③援助内容内訳

内容	相談	訪問
安否確認・状況把握	186	123
介護・保健等指導助言	194	81
介護保険・行政サービス申請受付	111	32
他機関との調整	256	101
情報提供(サービス・施設紹介等)	190	53
傾聴	24	2

④介護予防ケアマネジメント業務(平成30年3月31日現在)

契約者数：63件(うち居宅委託分47件) 内訳：要支援1・23名 要支援2・40名

⑤自主事業

事業名	実施回数	対象者	参加人数	共催・協力
認知症ホーター養成研修	1回	有料老人ホーム職員	28名	
認知症介護者の集い	3回	家族介護者・支援者	のべ28名	
安心生活講座	1回	一般住民	8名	神奈川県行政書士会
新任ケアマネジャー実習	4回	ケアマネジャー	9名	中区内6包括共催
主任ケアマネジャー交流会	1回	居宅事業所の主任ケアマネ	23名	中区内6包括共催
ケアマネサロン	4回	ケアマネジャー	17名	中区内6包括共催

⑥地域ケア会議

実施日	内容	参加人数	主な参加者
4月12日	サービス拒否の独居認知症高齢者について	11人	ケアマネ・サービス事業者・民生委員
6月6日	精神疾患のある独居高齢者の医療的支援	10人	ケアマネ・サービス事業者・在宅医療相談室
9月13日	高齢者を孤立させないために	45人	ケアマネ・サービス事業者・医師・薬剤師・町内会民生委員・地区社協
1月10日	サービス拒否の独居認知症高齢者について	12人	ケアマネ・サービス事業者・民生委員・行政書士
3月16日	いわゆる支援困難ケースへの対応について	16人	ケアマネ・サービス事業者・訪問看護

⑦介護予防普及強化事業(横浜市委託事業)

実施場所	実施回数	参加人数	内容
本牧元町南部町内会館	5回	1回の参加平均23.4名	ロコモティブ・シンドローム予防・口腔衛生 栄養指導・権利擁護・消費者被害等
根岸町自治会館	4回	1回の参加平均16名	
本牧三之谷町内会館	4回	1回の参加平均16.8名	
本牧大里町内会館	1回	23名	
本牧和田ケアプラザ	17回	1回の参加平均10.7名	

5 地域活動交流事業

①高齢者支援

事業名	実施回数	参加人数	内容
楽笑サロン 「さつき会」	週1回 (全45回)	1回の参加 平均19.5名	一般高齢者等を対象とした、介護予防のための体操とレクリエーション活動。
認知症予防 学習交流 サロン「なごみ」	週1回 (全46回)	1回の参加 平均7.7名	従来の簡易計算や音読の他、臨床美術療法を取り入れた認知症予防教室。

②子育て支援

事業名	実施回数	参加人数	内容
子育てサロン	12回	1回の参加 平均7.8組	子育て中(未就園児)の母親同士の交流や子育てに関する情報提供。
目指せ!イクメンの星	4回	1回の参加 平均2組	子育て中の父親と子どもと一緒に体を動かす遊びを通じて、父親同士の交流を図る。

③障害児者支援

事業名	実施日	参加人数	内容
余暇活動支援事業 「ホップステップ夏休み」	8月21日	児童3名 ボランティア6名	個別支援学級の児童を対象とし、夏休みの余暇支援を通じて地域社会への参加の機会とした。
就労移行支援 職場実習事業	31回	2名	ワークアシスト・日吉就労支援センター利用者の職場実習を受け入れた。

④ボランティア育成・地域参加支援

事業名	実施回数	参加人数	内容
男の料理教室	4回	1回の参加 平均8.8人	調理実習を通じてシニア世代男性の地域活動参加へのきっかけ作り。
ボランティア交流展	通年	のべ43人	ボランティア自身が活動内容の紹介や活動の感想をメッセージカードに書き館内に掲示。
ボランティア入門講座	1回 7月1日	10名	障害についての理解を深め、夏休みの余暇支援等で活動。中区6CP共催事業。

⑤支え合い活動支援

事業名	内容			
世代間交流会	本牧中生徒と老人会の合唱サークル	1回	参加者のべ38人	合唱とレクリエーションで交流。八聖殿郷土資料館協力。
	間門小キッズクラブと自主事業「さつき会」参加者	3回	参加者のべ26人	運動とレクリエーションで交流
ふれあい収集活動	地域の単身高齢者等を対象とし、本牧中学校ボランティアクラブの協力により高齢者世帯の古紙回収の支援活動を実施。			
エコキャップ収集	発展途上国の子どもへワクチンを寄贈するためのペットボトルのキャップ回収。			

⑥その他

事業名	内容
地域団体の活動支援(8カ所)	地区社協や町内会が行う食事会や茶話会、体操会等の活動支援。ケアプラザからの情報提供の他、個別相談の機会として活用。
福祉教育支援	近隣小中学校の福祉体験学習等の企画、実施。 小学校：1校(1回) 中学校：3校(4回) 大学：1校(1回)
広報紙「ぽんぽこだより」の発行	ケアプラザからの情報提供だけではなく、地区社協等の地域活動を掲載。1回1,600部(年4回)

6 生活支援体制整備事業

事業名	内容
お散歩カフェホット	高齢者の孤立の解消や、地域ボランティアの活用を目的にしたコミュニティカフェ 毎月1回開催(年間12回) 1回の利用平均人数31名
本牧ライトアッププロジェクト	本牧の伝統行事「お馬流し」期間中、地域の子どもや高齢者が手作りしたペットボトルライトで、本牧山頂公園のライトアップ活動を実施。区民利用施設等共催

高齢者の孤立化解消について9月に地域ケア会議と合同で協議体を開催し、ケアプラザの担当エリア内の地域活動サービスリストを提供。そのときの意見をもとに12月にリストの内容を更新、必要な情報が必要な人に適切に届くように地域活動カレンダーを作成して民生委員等へ提供した。

7 運営協議会

第1回 平成29年6月28日 平成28年度事業報告

第2回 平成30年2月28日 平成30年度事業計画